



主催 日本学術会議
共催 土木学会
日本建築学会

"Twin Bridge Noto" © Kyoto Prefectural Government et al., CC BY-NC-SA 4.0, modified

第 72 回 構造工学シンポジウム 記念講演会 構造工学の視点から考える地域防災

無料

2026年 4月 11日 (土) 15:00~17:45

宇都宮大学 陽東キャンパス 10号館 1階 アカデミアホール

開会挨拶

佐々木 葉 (早稲田大学)

米田 雅子 (防災学術連携体)

特別講演「能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備え」(予定)

竹内 徹 (東京科学大学名誉教授)

パネルディスカッション「地域防災に貢献する構造工学」

荒木 康弘 (国土技術政策総合研究所)

石井 大一郎 (宇都宮大学)

鋤田 泰子 (神戸大学)

藤倉 修一 (宇都宮大学)

第 72 回

構造工学シンポジウム

主催 日本学術会議

共催 公益社団法人土木学会

一般社団法人日本建築学会

本シンポジウムは、構造工学論文集 Vol.72A・B に掲載された論文等に関する発表や、構造工学分野における主要なテーマについて専門家の講演を行い、研究者や技術者の産官学を横断した学術技術交流の場となることを目的として開催します。

会 期 2026 年 4 月 11 日 (土)

4 月 12 日 (日)

会 場 宇都宮大学 陽東キャンパス

所在地：[栃木県宇都宮市陽東 7-1-2](#)

最寄駅：宇都宮ライトレール

宇都宮大学陽東キャンパス停留所

参加費 無 料

申込み 不 要

一般講演会

構造工学論文集 Vol.72A (土木部門)・B (建築部門) に掲載された論文・報告・総説について、著者による口頭発表 (発表 10 分と質疑 5 分) を行います。

日時

4 月 11 日 (土) 10:15~14:45

4 月 12 日 (日) 9:00~12:30

会場

8 号館 2 階 821~825 教室

10 号館 1 階アカデミアホール

プログラム

4 月 11 日 (土) pp.5~9

4 月 12 日 (日) pp.10~14

構造工学論文集 Vol.72A・B

シンポジウム開催までに J-STAGE にて無償公開されま
す。論文は次のリンクから閲覧できます。

[Vol.72A \(土木部門\)](#) / [Vol.72B \(建築部門\)](#)

記念講演会

「構造工学の視点から考える地域防災」

2024 年 1 月 1 日に能登半島で発生した M7.6 の地震では、珠洲市や輪島市をはじめとする地域において多数の木造建物が被害を受けるとともに、土砂崩れや道路の寸断などが発生し、住民生活に深刻な影響を及ぼしました。さらに、同年 7 月には豪雨災害も発生し、これらの複合的な災害の影響により、長年居住してきた住民の地域外への流出が継続しています。

国内各地域での大規模災害に対応した防災体制や復興計画を如何に構築するかは喫緊の課題です。構造工学は、防災・減災の基盤を成す分野であり、地域防災や強靱な街づくりの議論には欠かすことができません。

本シンポジウムの開催地である栃木県は、2011 年東北地方太平洋沖地震、2015 年豪雨による鬼怒川氾濫などの自然災害を経験しています。また、会場である宇都宮大学では、防災に関わる教育・研究・地域連携を総合的に推進する地域防災に力を入れています。

今回の記念講演会は「構造工学の視点から考える地域防災」をテーマに、特別講演では、能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備えに関して日本学術会議での議論を紹介します。その後のパネルディスカッションでは、2024 年能登半島地震等の事例を踏まえ、地域防災さらには広域の防災・減災対策を建築構造、土木構造を対象とした構造工学の視点から振り返り、地方だけでなく首都圏等における今後の防災・減災に関わる技術を議論していきます。

日時

4 月 11 日 (土) 15:00~17:45

会場

10 号館 1 階アカデミアホール

プログラム (各タイトルは現時点での予定です)

1. 開会挨拶 (15:00)

佐々木 葉 (日本学術会議土木工学・建築学委員会副委員長
/早稲田大学理工学術院教授/前 土木学会会長)

米田 雅子 (防災学術連携体代表理事/宇都宮大学理事/
前 日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)

司会：永野 正行 (東京理科大学)

2. 特別講演 (15:10)

能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく
広域地域災害への備え

竹内 徹 (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長/東
京科学大学名誉教授/前 日本建築学会会長)

司会：永野 正行 (東京理科大学)

3. パネルディスカッション (16:15)

地域防災に貢献する構造工学

「2024 年能登半島地震等における建物被害」

荒木 康弘 (国土技術政策総合研究所住宅研究部住宅生産研究室室長)

「大都市圏フリンジにおけるコミュニティと地域防災」

石井 大一郎 (宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科地域デザインセンター地域防災部門長)

「災害時の線状インフラの機能を再考する」

鎌田 泰子 (神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻教授)

「橋は地域の生命線-地震後に“使える”構造をめざして」

藤倉 修一 (宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科教授)

司会：山本 憲司 (東海大学)

田井 政行 (摂南大学)

交流会 (関連行事)

初日の記念講演会終了後に、一般講演会参加者や記念講演会講師を交えた懇親会が開催されます。

主催

一般社団法人日本建築学会 構造委員会
構造工学論文集編集小委員会

日時

4月11日(土) 18:00~19:30

会場

11号館1階アクティブラーニング教室

会費

5,000円(予定・現地支払い)

参加意向アンケート

交流会への参加をご検討されている方は、[アンケートフォーム](#)へのご回答をお願いします。なお、ご回答は当日の出欠を制約するものではありません。

土木学会ポスターセッション (関連行事)

土木学会による若手ポスターセッション「[次世代構造技術者の Work in Progress](#)」が開催されます。

主催

公益社団法人土木学会 構造工学委員会
若手構造技術者連絡小委員会

日時

4月11日(土) 11:45~15:00

4月12日(日) 10:45~12:30

会場

8号館1階エントランスラウンジ

CPD 実績登録申請

土木部門

本シンポジウムは土木学会 CPD の認定プログラムです。申請方法は土木学会構造工学論文集編集小委員会 [Web ページ](#)をご覧ください。

建築部門

本シンポジウムは建築 CPD 情報提制度の認定プログラムです。実績登録をご希望の方は、当日中にシンポジウム受付にて申請名簿にご記入ください。

1日目：一般講演会2単位、記念講演会3単位

2日目：一般講演会3単位

問合せ先

土木部門に関するお問合せ

■発表方法・論文集・プログラムについて

土木学会構造工学論文集編集小委員会幹事団

E-Mail：struct-eng@ml-jsce.jp

※開催期間中の緊急連絡も上記へお願いいたします。

■参加申込み・CPD について

土木学会事務局(岡崎)

E-Mail：okazaki@jsce.or.jp

建築部門・その他のお問合せ

日本建築学会事務局(加藤)

E-Mail：kato@aij.or.jp

構造工学論文集 Vol.73 論文投稿のご案内

本年も構造工学論文集 A (土木部門) 及び B (建築部門) への論文投稿を募集します。投稿に係る資格要件はありませんので、皆様のご投稿をお待ちしています。投稿要領は、構造工学論文集編集小委員会の Web ページにて公開します。

・[土木部門 Web ページ](#) (土木学会)

・[建築部門 Web ページ](#) (日本建築学会)